

知床マップ

知床は、北半球で流氷がやってくる最も低緯度な地域であり、この流氷がもたらす多くのプランクトンにより、海が豊かとなっています。

海には、豊富な魚類や、アザラシ、トド、イルカやクジラなど多くの生物が生息しています。

海岸から山頂までの間には、人手の入っていない多様な植生があり、豊富な餌と多様な環境を背景として、ヒグマが世界的にも高密度に生息しています。

シマフクロウ、オオワシ、オジロワシなど、国際的にも希少な動物の重要な繁殖地や越冬地にもなっています。

秋には、海からサケやマスが産卵のため川に遡上し、ヒグマや鳥達の餌となり、海と陸の生態系を繋いでいます。

これら、「生態系」と「生物多様性」が認められ、平成17年7月、世界自然遺産に登録されました。

世界の宝である「知床」を将来にわたって守っていくため、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

